

特集

新・日本の秘境&絶景7選

WONDERS AROUND JAPAN

執筆：EE編集部(大木、菊池、一柳) 英文：Dean Robson

写真上：Chockdee Permploysiri/Shutterstock.com、中央：あしががフラワーパーク



2019年の訪日外国人観光客数はついに3188万人に到達。

浅草や富士山、京都といった定番の観光地の見物にとらわれない

テーマ性を重視する「体験型」のツーリズムが訪日客の間で人気を博しているという。

彼らを引きつける、日本ならではの風景とその魅力とは？

今回は、近年海外人気上昇中の7つのスポットを、意外なその理由とともに紹介する。

新型コロナウイルスによる観光業への影響が懸念されている中ではあるが、

誌面旅行の後は、ぜひ、英語で日本の魅力を発信するチャレンジを！

あしかが フラワーパーク

栃木県

藤の花が創り出す幻想世界

2

When it comes to the color of spring in Japan, the pale pink of the cherry blossom is usually what first comes to mind. But the wondrous purple of these elegantly pendulous wisteria flowers is also one of the prides of Japanese spring. The wisteria flower has been a fixture of Japanese culture since ancient times, with many poems about it appearing in the *Man'yōshū*, the oldest extant collection of classical Japanese poetry, thought to have been compiled at the end of the 8th century. In this country where the custom of flower viewing is firmly established, people have long enjoyed the beauty of the wisteria flower itself

日本の春の色といえば、真っ先に思い浮かべるのは桜の淡いピンク色だろう。だが、この優雅に垂れ下がる藤の花の霊妙な紫色も、日本の春の誇りの一つだ。藤の花は古くから日本文化に定着しており、8世紀末頃に編纂されたと考えられる、現存する最古の和歌集「万葉集」にも藤の花を詠んだ歌は多くある。花の観賞文化が根付くこの国では、長い間、人々は藤の花の美しさそのものを愛でたり、恋心を比喩的に表現するの^{へんさん}に藤の花を用いてきた。しかし近